

CAPASとWAIS-IIIの用語説明（インターネット検索できます）

いずれも、田中ビネーとかを補うために開発された知能検査（IQ）です。
インターネットから引用

CAPAS 開発の経緯

CAPAS 能力検査（以下「CAPAS」という。）とは、新田中B式知能検査（3B）に代わる知的能力測定検査として開発され、昭和63年以降、実用化されている検査である。

CAPAS が開発される以前は、受刑者の知的能力を測る手段として田中B式知能検査を利用していましたが、同検査の測定対象者は心身ともに発達途中にある児童・生徒であり、成人は対象としていなかったこと、また、受刑者のかなりの者がIQ55以下の領域にひとまとめにされてしまうこと等の理由から、受刑者を母集団とした、受刑者のための能力検査としてCAPASが開発された。

WAIS-III(ウェイス・スリー)は、成人心理検査、俗にいうIQテストです。正式名称はウェクスラー成人知能検査といます。IQ検査が、児童を対象にしているの、年齢が高くなった方を対象とすると、IQが低く出てしまうのでそれを、補うために作られた成人用の検査です。